

## 9月定例会教育委員会 会議録

1、開催日時 令和4年9月22日（木）午後1時58分から午後3時35分

2、開催場所 市役所2階 第一会議室

### 3、出席委員の氏名

教育長 小林 正人

職務代理者 三枝 泰子

委員 小笠原 幸夫、村上 憲司、遠山 江理

### 委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐

### 4、教育長開会宣言

### 5、会期の決定

### 6、今回会議録署名委員

三枝 泰子職務代理者、遠山 江理委員が指名される。

### 7、前回の会議録の承認

職員が8月定例会会議録を朗読し承認される。

### 8、報告

#### ①教育長報告

令和4年8月18日から令和4年9月20日までの教育長活動が報告された。

#### ②指定校変更及び区域外就学について

指定校変更6件、区域外就学2件について、承認を行った事務処理について報告された。

## 9、議事

### 議第10号 令和5年度教育予算方針(案)について

#### 【説明】学校教育課長

令和4年10月27日に、市長と教育委員会が教育政策について協議・調整する総合教育会議の開催を予定しております。総合教育会議では、「令和5年度 教育予算方針について」を議題としており、この教育委員会会議において、内容を確認・承認いただき、教育総合会議において教育長から説明する予定です。なお、教育予算方針は、教育振興基本計画の理念、基本目標に基づき、重点的に取り組む事業を示しております。

学校教育課予算方針(案)の内容について、説明がなされた。

#### ○学校教育課予算方針(案)について

- 1 知の資源と連携したまちづくり(大学等と連携した教育施策の推進)
  - (1) 多様な支援スタッフの参画による学校教育活動の充実と教員の働き方改革の推進
  - (2) 英語教育や都留文科大学と連携した教育の充実
- 2 生きる力を育む学校教育のまちづくり(学校教育の充実、家庭・地域・学校の連携)
  - (1) 小中学校ICT教育環境の充実
  - (2) 市費負担教員、教員補助員の配置によるきめ細かな学習指導の推進
  - (3) 児童・生徒に対するきめ細やかな対策の充実
  - (4) 教職員のメンタルヘルス対策の充実
  - (5) 適正規模・適正配置について
  - (6) 学校施設の整備
  - (7) インターナショナルセーフスクール認証に向けての取り組みの推進
  - (8) SDGsの推進

#### 【説明】教育委員会教育次長

生涯学習課予算方針(案)の内容について説明がなされた。

#### ○生涯学習課予算方針(案)について

- 3 地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり(生涯学習の推進、スポーツ・文化・芸術の振興、生涯学習施設等の充実)
  - (1) 子どもから高齢者まで、一人ひとりのニーズに合わせた多様な学習機会・プログラムの提供

- (2) 「放課後子ども教室」の推進
- (3) 産学官民連携によるスポーツの振興と市民の健康増進
- (4) 「芸術文化事業」の推進
- (5) 「文化・生涯学習施設」、「スポーツ施設」等の計画的な改修・設備の更新

小林教育長

令和5年度教育予算方針（案）について、ご質問・ご意見はございますか。

小笠原委員

学校教育課、生涯学習課とも、「部活動の地域移行に向けた準備を進める。」とある。国が令和7年度を目途に運動部活動を地域に移行する方針を受けてのものと思うが、現実的には非常に難しいと考えている。教員は、部活動も子どもたちの健全育成の一環として捉え指導を行っているが、一般の方が指導を行った場合には、勝つこと優先となり生徒指導上の問題が生じる可能性もある。高校では、教員を退職された方がそのまま継続して部活動を指導しているケースもあり、中学校部活動の指導経験のある退職教員などを活用しつつ、きちんとした組織を作る必要があると考えている。また、その組織で、指導者の公募や選考を行い、こどもに適切な指導ができるよう指導者の育成を行う必要がある。

小林教育長

部活動の地域移行については、山梨県の方針がはっきりしない部分もあり、先日開催された南都留地区の教育長会議においても話題になり、他市町村でもどうやって進めていくのか困っているということであった。しかしながら、教員の働き方改革は喫緊の課題であり、部活動の地域移行については、令和7年度までに進めていかなくてはならない。現在、都留市スポーツ協会が部活動の受け皿となる意向を示しているが、現状のままでは受け皿となることは困難であると考えている。現役の教員の中にも、部活動の指導を継続して行っていきたいと考えている方もおられると思いますし、部活動は教科以外の教育の場であることから、今後は教員も含めた部活動の地域移行に向けた検討会あるいは、準備会を設置する予定である。なお、国では運動部活動と併せて文化部活動についても、地域移行を進めており今後設置する組織には文化協会

等の文化部活動の受け皿となり得るものも含めていくこととしている。

また、部活動の地域移行については、地域と学校とを結ぶコーディネーターの配置について、国・県から助成が受けられる場合は、市教育委員会にコーディネーターを1名、受け皿となるスポーツ協会にもコーディネーターを配置し、学校と連携し、教員も含めた指導者となる人材を確保して行きたいと考えている。なお、現役の小中学校の教員等が指導者となる場合については、所属長より兼業の許可を受け、手当の支給を受け指導にあたっていただくことを想定している。また、本市には他市町村には無い大きなアドバンテージとなる都留文科大学が有ることから、大学とも連携して行きたいと考えている。いずれにしろ、子どもたちにより良い環境を提供できるよう検討会等で協議していく方針である。

#### 小笠原委員

部活動の地域移行に関し懸念されることとして、保護者の中に部活動指導に熱心に取り組む教員を評価するという傾向があることがある。部活動の指導を行わない教員は、良くない教員であるといった評価に繋がらないように進めて行く必要がある。

#### 小林教育長

検討組織にはPTA関係者も含めることとし、部活動指導は教員の仕事では無いこと、部活動の地域移行の仕組みなどについても理解していただくこととする。

#### 小笠原委員

教員や生徒の中には、部活動を非常に楽しみにしている者もあり、部活動が学校生活で潰れてしまわない要素の一つにもなっていたということもあった。

#### 小林教育長

部活動指導に地域移行後も継続して関わりたいと考えている教員については、関わり続けられるような仕組みを作っていきたいと考えている。

#### 遠山委員

部活動の地域移行は、当面は休日のみとなるのか。

小林教育長

当面は、休日を地域に移行していくこととなるが、将来的には平日の部活動についても地域に移行されることとなり、小中学校体育連盟などが開催している大会の運営についても併せて検討していく必要があるものと考えている。

遠山委員

部活動の顧問の先生というものは残っていくのか。また、部活動は放課後に行うものという認識であったが、地域移行後はどうなっていくのか。

小林教育長

当面は、平日はこれまでと同様に学校の教員が顧問として部活動の指導を行い、休日の指導を地域の人材が行うこととなるが、適切な指導が行えるよう指導者の育成などを組織だつて行っていく必要があると考えている。いずれは放課後の部活動の指導も地域の人材が行うこととなるが、どのように平日指導できる人材を確保していくのが課題となっている。

村上委員

部活動の地域移行は、教員の働き方改革を推進する上では非常に意義があり、なんとか進めて行く必要がある。地域移行を進めていく上では、様々な課題が生じてくることが予測されるが、活動が市町村を跨いだ複数校の連合チームで行われているものもあり、他市町村と連携して進めることも必要となる。また、小中学校体育連盟についても、改革を進めていく必要があると考えている。

小林教育長

現状では、小中学校体育連盟がどのように考えているのかが見えて来ていないが、市教育委員会としては、様々な課題を一つ一つ解決しながら部活動の地域移行を進めて行きたいと考えている。

村上委員

「(1) 小中学校 I C T 教育環境の充実」の欄の「一人 1 台タブレット」の記載は、「1 人 1 台」と数字を算用数字に変更をした方が良い。」

また、「(2) 市費負担教員、教員補助員の配置によるきめ細かな学習指導の推進」において、「都留文科大学の教員を目指す学生等を小中学校に学習指導員として配置」について、「国庫補助金を活用する中で配置を継続します。」とあるが、学校現場では、これらの学習指導員の配置に助けられており、今後も継続して配置が行われることを期待している。また、都留文科大学学生にとっても貴重なアルバイト先であり、希望する学生も多く学生も続けられることを期待しているが、国庫補助金が無くなれば終わりとなってしまうのか。

#### 学校教育課長

小中学校学習指導員の配置については、以前から国庫補助金の対象であったが、新型コロナウイルス感染症による学校休業等を受け拡大されたという経緯がある。教育委員会といたしましても学校の大変さは十分承知しており、学校の要望に応じて1日に1校1名は配置しており、今後も国の予算を注視し、先生方とも連携しながら可能な限り配置を継続していきたいと考えております。

#### 三枝委員

文中に「きめ細か」と、「きめ細やか」が混在しているため、統一した方が良い。

また、「(3) 児童・生徒に対するきめ細やかな対策の充実」に「生徒指導研究委員会」とあるが、これまでもあったものを改編したのか。また、参加者はどのようなメンバーとなっているのか。

#### 学校教育課長

「生徒指導研究委員会」は、今年度、不登校児童・生徒や問題行動を起こす児童・生徒への対応について協議する場として、令和4年度に新たに設置しました。定期的に会議を行っておりますが、メンバーについては、後日確認の上、報告いたします。

#### 小林教育長

令和4年度は、9月以降に徴収分の学校給食費について、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し無償化しましたが、令和5年度以降の国庫補助金等の動向が見通せないため、この方針においては学校給食費の軽減策等に関する記載は行っておりません。学校給食費の無償化には恒久的な財源の確保が必要となる

ため、財源の確保策も含め庁内で今後検討していくこととしております。

#### 小笠原委員

英語教育について、都留文科大学の学生などを活用して、如何に伸ばしていくかが大事であると考えている。中学生を対象とした都留文科大学での体験学習に加えて、都留文科大学で英語を学ぶ学生と、中学3年生などが交流する活動を設け、英語教育の大切さを訴えていくようなことが必要である。本市には、他市町村には無い大学という存在があることを知らしめ、大学があつて良かったという実感が持てるような場ができれば良いと考えている。

#### 学校教育課長

本年度は、中学2年生を対象に2月に都留文科大学での体験授業等を行うこととしており、実施してみてもの成果や課題を検証した上で新たな施策を考えていくこととしております。

#### 三枝委員

今年度実施予定の中学生による都留文科大学での体験授業は、都留文科大学附属小学校で行われた体験授業について報告を受けた際に、昨年度、白戸吉男委員より出された、他の小中学校の子どもたちにも同様の経験をさせることが学習意欲の向上等に繋がるのではないかという意見を受け、教育委員会で早速事業化されたものであり、私としても期待している。

#### 村上委員

都留文科大学英文学科の学生がSATとして中学校での学習支援に入っているが、カリキュラムの都合もあり、英文学科の学生が支援に入る授業が数学だったといったこともあり、効果的な支援が行えるような仕組みづくりを行う必要もあると考えている。

#### 小笠原委員

そこは、是非、教育委員会で主導して仕組みを作っていただきたい。

小林教育長

小中学校、都留文科大学と相談しながら、より効果的な支援が行える仕組みづくりを行ってまいります。

なお、都留文科大学附属小学校については統合の方向性について協議していく必要がある。開地地域の皆様からは、英語特区をどうするのかといった意見もあり、英語特区である都留文科大学附属小学校を統合した場合の英語特区について、市内全校に広げるのか、あるいは統合先の学校が引き継ぐのかといったことについても検討する必要があると考えております。

以上の発言あり。

小林教育長が意見を求め協議したところ、指摘のあった箇所について訂正を行うことで承認された。

【一部修正し承認】

## 10、その他

【説明】 学校教育課長

- (1) 都留市議会9月定例会代表質問・一般質問について
- (2) 令和4年度都留市通学路安全推進協議会について

【説明】 学校教育課長補佐

- (3) 令和4年度第2回都留市総合教育会議の開催について
- (4) 第25回南都留地域教育フォーラムの開催について
- (5) 令和5年度入学児童就学時健康診断の実施について

【説明】 生涯学習課長補佐

- (6) 第24回都留いきいきフェスティバルについて
- (7) 第1回つる湧水の里ランフェスについて

【 了 知 】

## 11、教育長閉会宣言